

三三一八番

紀伊の国の浜に寄るといふ 鮑玉 拾はむと
言ひて 妹の山背の山越えて 行きし君 いつ
来まさむと 玉梓の道に出で立ち 夕占を 我
が問ひしかば 夕占の 我に告らく 我妹子や
汝が待つ君は 沖つ波 来寄る白玉 辺つ波の
寄する白玉 求むとそ 君が来まさぬ 拾ふとそ
君は来まさぬ 久ならば いま七日だみ 早から
ば いま二日だみ あらむとそ 君は聞こししな恋
ひそ我妹